

## 1. 単元名

「私たちの食卓とブラジルの森—大豆と森林から考える「望ましい未来」と私たちの一歩—」

## 2. 単元の目標

(1) 日本とブラジルの歴史的つながりと、現代の大豆生産・用途（食品・油・飼料）、土地利用と森林との関係を、地図・図表・資料から読み取り、相互に関連付けて説明する。

【知識・技能】

(2) 「このまま進むとどうなるか」、「望ましい未来」、「そのための行動」を因果関係と価値（公正・環境・暮らし）の視点で構造化し、根拠を明示した提案として表現する。

【思考力・判断力・表現力等】

(3) 自分の生活（食・購買）と世界課題（森林・生計）との関わりを自覚し、来週レベルの具体的な一歩を計画・実行しようとする姿勢を示す。

【学びに向かう力・人間性等】

## 3. 単元について

### (1) 教材観

社会科で持続可能性に関する学習を中学1年生に行うにはどのような題材を選ぶべきだろうか。これまで、食品や農業に関わる作物として、パームヤシ、コーヒー、バナナ、カカオなどが題材として扱われてきた。これらの題材に共通する点として、主に熱帯付近のプランテーション作物であることが挙げられる。南アメリカ州を学習内容とするのであれば、ブラジルのコーヒーが該当する。しかし、中学1年生の生徒にとって、コーヒーは身近な作物と言えるだろうか。カフェオレやコーヒーゼリーなどコーヒー味のする食品、ファストフード店やカフェチェーン店のコーヒーを含んだ飲料は中学生にとっても身近である人はいるであろう。だが、コーヒーは嗜好性があり誰もが日常的に用いる食材とは言い難い。そこで、今回南アメリカ州の学習を進めるにあたって、多くの人が日常的に消費する大豆を題材として扱うことにした。

大豆には見える大豆（豆腐、納豆、味噌等の食品）と見えない大豆（大豆粕を飼料として用い、肉・卵・乳製品を生産につながつている）の二層構造を持つ。大豆は、価格・需要・政策・気候等の複合的な要因が土地利用に影響するため、単純な善悪を越えたジレンマ学習に適していると考えた。南アメリカ州、とりわけブラジル、アルゼンチンの大豆生産量は世界有数のものであり、特にブラジル産大豆は日本に飼料用として多くが輸入されている。日本の食が南アメリカ州のブラジルに支えられている事実から、日本とブラジル産大豆の関係やブラジルでどのように大豆生産が行われているかを調べ、その影響を考察することで、ブラジルの大豆生産がブラジルの土地や地球環境に与える影響を理解すること、地球環境の未来を予測して自分たちの行動様式を変容することを目ざした。

## (2) 生徒観

本単元を学習する中学校 1 年生段階では、未来予測という抽象度の高い議論は負荷が大きいと考えた。そこで未来予測をするための具体的な問いとして、「このまま進むとどうなるか」、「望ましい未来はどのような未来か」「今自分たちができる一歩にはどのようなものがあるか」の 3 視点で整理することを目ざす。また、写真・地図・フローチャートなどの視覚教材で支えることで、大豆生産による構造的な問題や因果・価値・行動が結びやすくなると考えた。

## (3) 指導観

学習者中心・行動志向を軸に、大豆の生産や消費に関わる立場の視点で事象と考えること、それぞれの立場の意見を反映した合意形成で協働的に意味づけを行うことを目ざす。

## (4) ESD との関連

### ▼ESD の視点 (見方・考え方)

相互性：南米の大豆生産と日本の大豆消費とのつながりを理解し、地域を越えた人々の暮らしの相互依存性に気付く。

責任性：輸入や消費といった自国の選択が他地域の自然環境や社会に影響を与えることを踏まえ、自らの役割と責任について考える。

### ▼ESD で育てたい資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力：このまま進む未来と方策を講じた未来の二通りを構想し、望ましい未来を実現するための道筋を考える。

多面的・総合的に考える力：環境・経済・社会の 3 つの側面から方策を比較し、単一の視点にとらわれずに持続可能性について考える力を育てる。

### ▼ESD で育てたい価値観

世代間の公正：現在の利益だけでなく、将来の盛大が豊かな自然と選択肢を持てるように考える姿勢を育む。

自然環境・生態系の保全を重視する (生物多様性の重視)：森林伐採による生物多様性の損失に目を向け、生態系の維持に価値を置く意識を高める。

### ▼関連する SDGs

12 (つくる責任つかう責任) 13 (気候変動) 15 (陸域生態系) 2 (飢餓をゼロに) 8 (働きがいと経済成長) 17 (パートナーシップ)

## 4. 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
地図・図表・資料を用いて、大豆の用途 (食品・油・飼料) と土地利用・森林の関係、を正確に読み取り、用語を適切に用いて説明している。	「このまま進むとどなるか→望ましい未来はどのような未来か→今自分たちができる一歩」の因果関係が明確で、大切にす価値を示し、自身の	課題意識を持って調べ・話し合いに参加し、実施可能な行動を自ら設定・改善しようとしている。

	提案を表や図で分かりやすく表現している。	
--	----------------------	--

## 5. 単元の指導計画（全5時間）

次	時	学習活動	学習への支援／資料	評価
	1	<p>オレンジ価格高騰のニュース：一つの出来事で価格が変わる事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大豆が見える食品／見えない食品をクイズで整理比較する。</li> </ul> <p>「卵や鶏肉は大豆とどのように関わっているのだろうか？」</p> <p>▼南アメリカ州は大豆をテーマに単元を行うことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と南アメリカ州の歴史的なつながり（移民）について紹介する。</li> <li>南アメリカ州はどのような地域なのかを調べよう。</li> </ul> <p>「南アメリカ州と日本は大豆でどのような関わりがあるのだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本で消費される大豆はどこからくるのだろうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オレンジ高騰のニュース資料</li> <li>食品の写真：納豆，卵，鳥のから揚げ「この中で大豆が関わっている食べ物はどれ？」</li> <li>納豆の食品表示ラベル</li> <li>大豆の写真，枝豆の写真</li> <li>地誌学習プリントを使う</li> <li>地図帳や教科書と一緒に探す</li> <li>単元テーマ「ブラジルは大豆生産でどのような影響を受けているのだろうか」</li> <li>納豆や大豆由来製品のパッケージなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> <li>記述内容</li> </ul>
	2	<p>◎大豆の用途と日本とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジルと日本のつながり移民の資料</li> <li>なぜ日本人はブラジルへ行ったのか？</li> <li>日本とブラジル（南米）は歴史的につながりのある地域であった</li> </ul> <p>「ブラジルはなぜ大豆生産世界一になったのだろうか」→予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WWF 資料から，どのように作っているか，どのような場所で作っているか，どのように生産量を増やしたか等を読み取り，ホワイトボードにまとめる。</li> <li>熱帯林や草原が伐採されて農地になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移民に向かう人々の写真</li> <li>移民先での様子と出来事</li> <li>出稼ぎ労働者</li> <li>アメリカやオーストラリアの農業の事例を思い出す。</li> <li>大豆農地や収穫の写真</li> <li>ブラジル大豆生産の変化</li> <li>ブラジルの農地拡大の資料</li> <li>品種改良，機械化に関する資料</li> <li>資料は4人班で協力して読み取っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> <li>記述内容</li> </ul>
	3	<p>◎大豆生産現場と森林の関係を考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星画像で森林変化を観察</li> <li>森林だったところは何になったのか？</li> </ul>	

	<p>「なぜブラジルは熱帯林や草原を農地や牧草地にしてきたのだろうか」→予想</p> <p>①森林変化の衛星画像, ②土地利用変化の地図, ③大豆生産量変化の資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発が進むとどのような影響があるだろうか</li> <li>・ブラジル政府, 大豆の買い手, 企業, 環境・地域の4つの視点から考えてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積が増えている</li> <li>・熱帯林やセラードが農地や道路になるなど開発が進んでいる</li> </ul>	
4	<p>◎森も大豆も守る方法を考える</p> <p>「森も大豆も守るにはどうしたらよいだろうか」→予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EUの森林保護の取り組み(EUDR=欧州森林破壊防止規則)を紹介する</li> <li>・環境, 経済, 社会の3視点から森も大豆も守る方法を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクプラスを使い, 4人班で案を書いたカードを作成する。カードは提出して比較検討する。</li> <li>・オクリンクプラスではあらかじめまとめ用のカードを用意しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出されたオクリンクプラスのカード作成内容</li> </ul>
5	<p>◎ブラジルの未来 私の未来の見通しをまとめよう</p> <p>「このまま大豆生産が続くとどのような影響があるだろうか」</p> <p>単元の学習課題に対する自分のまとめを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が「このまま続くとどのような未来が考えられるか」を中心概念としたコンセプトマップを作成する。</li> <li>・クラス全体で意見を出し合い, クラスで1つのコンセプトマップとする。</li> <li>・プラスの影響, マイナスの影響をどちらにも影響をそれぞれ色分けして囲む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトマップ</li> <li>・単元の学習課題に対するまとめ(思考)</li> </ul>